

戦後 70年 尹東柱没後

特別企画

8月22日(土)

13:00開場 13:30開会
(資料代 500円)

横浜市西区公会堂 1号会議室

死ぬ日まで天を仰ぎ
一点の恥じ入ることも
ないことを……
今夜も星が
風にかすれて泣いている

講演

楊原泰子 (尹東柱を記念する立教の会)

時代の記憶をはこぶ風

— 尹東柱の詩と生涯 —

下山房雄 (経済学者)

日本帝国主義の朝鮮植民地支配と

治安維持法を考える



ユン ドンジュ
尹 東柱

1945年2月、
日本で獄死。
27歳。詩人。



尹東柱の詩 朗読
田中 泰子

後援: 神奈川県平和国際友好団体連絡会(平和委員会、原水協、AALA 連帯委員会、日中友好協会、日本ベトナム友好協会、日本ユーラシア協会)、新日本婦人の会神奈川県本部、治安維持法犠牲者国賠同盟神奈川県本部

日本コリア協会かながわ県連共同代表

堀内静夫(前神奈川県民医連会長) 大図建吾(日本コリア協会・川崎代表)

連絡先

小黒忠彦 090-1120-8041



会場

横浜市西区公会堂 案内図

横浜市西区岡野 1-6-41
 横浜駅西口から徒歩10分
 電話 045-314-7733

講師紹介

やなぎはら

楊原泰子さん

(尹東柱を記念する立教の会)

白樺教育館学芸員。1998年頃から、尹東柱の日本時代の足跡調査、様々な記録を掘り起こす活動を続けています。2007年2月に「詩人尹東柱とともに集う」を開催。2008年、立教大学文学部100周年記念行事として「詩人尹東柱とともに 2008」を開催するとともに「立教の会」を設立。

毎年2月には追悼セレモニーと講演会を立教大学池袋チャペルで行っています。その活動は韓国でも紹介され注目されています。

下山房雄さん

(経済学者・労働経済学)

横浜国立大学教授、九州大学教授、下関市立大学学長、神奈川総研理事長を歴任。現在九州大学名誉教授。

治安維持法犠牲者への国家賠償、レッドパージの救済から最低賃金制、労働法制まで、幅広い課題に取り組み活躍中。

海老名の地から憲法をくらしに生かし、「九条」を守るために今日的発言を発信し続けています。

田中泰子さん (詩の朗読)

演劇と地唄舞を学ぶ。朗読は樋口一葉、太宰治、松本清張、向田邦子外を各所でおこなう。邦楽・クラシック・シャンソン・ラテンとのコラボなど幅広い活躍をしている。

ユン ドンジュ 尹 東柱

1917年、当時の満州北間島の明東村(現在は龍井市)で生まれる。その後、龍井の光明学園、ソウルの延禧専門学校(現在の延世大学校)などで学んだ後日本に留学。

1942年4月、立教大学で平沼東柱という日本名で約半年間学び、日本の植民地政策による弾圧の中で平和への願いをこめて数々の詩をハンゲルで書き続けました。

その後、同志社大学に編入。翌年の1943年7月、治安維持法違反の嫌疑で逮捕。福岡刑務所に収監され、祖国朝鮮が解放される半年前の1945年2月16日未明、27歳という若さで獄死しました。没後70年の歳月が流れましたが、その清冽な詩と生涯が多くの人々の心をとらえつづけています。生家は尹東柱記念館として整備され、韓国からの修学旅行者等がたくさん訪れています。

